

黒崎実践区

1 共通テーマと地区テーマ

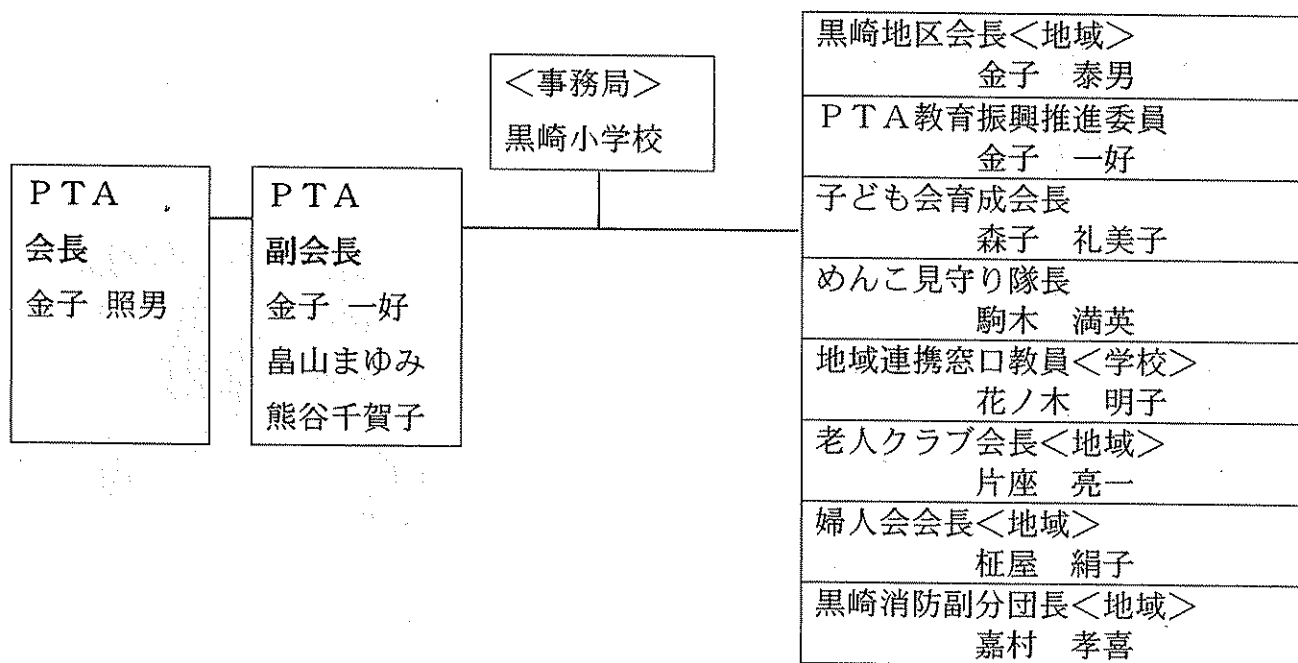
(1) 共通テーマ

「生きる力」を育てるため、地域の連携を深めよう。

(2) 地区テーマ

地域で育て、地域で見守る黒崎っ子～家庭・地域で学習・生活の習慣化を～

2 地区実行委員会組織図



3 主な活動内容

共通テーマの活動内容	地区テーマの活動内容
<地域の特色を生かした活動> ○ 防犯パトロールの継続 ○ 子ども110番の家の確認 ○ 安全環境づくり ○ 安全指導の充実 ○ キッズプラザの継続 ○ 花いっぱい運動 ○ 漁業体験（採卵受精、稚魚放流） ○ 祖父母交流（昔遊び・そば栽培）	<知・学力向上> ○ 家庭学習の習慣化 ・年4回の家庭学習強化週間 ○ 家族で読書 <徳・健全育成> ○ 笑顔で挨拶 <体・健康安全> ○ 早寝早起き朝ごはん ・「野菜食べんさい（菜）！」活動の実施

地区テーマ（重点的取り組み）

「地域で育て、地域で見守る黒崎っ子～家庭・地域で学習・生活の習慣化を～」

今年度、黒崎小学校「まなびフェスト」の中に、黒崎地区教育振興運動と合わせて、

<知・学力向上>○家庭学習の習慣化 ○家族で読書

<徳・健全育成>○笑顔で挨拶

<体・健康安全>○早寝早起き朝ごはん

の取り組みを設定した。これは、子どもたちの実態から、教師、保護者の願いを合わせたもので、その都度、感想や反省をしながら取り組んできている。

① 家庭学習習慣を育てる実践

ア 取り組み期間

1回の取り組み期間を10日間として、年4回の家庭学習強化週間を設定した。

夏休み、冬休みには宿題のドリルが終わったら、家庭学習に取り組む。

第1回： 5/7～5/16 第2回： 9/16～9/26

第3回： 11/4～11/13 第4回： 2月下旬

イ 取り組み方法

- ・帰りの会などで「ひとり勉強のヒント」のカードをもとに今日の家庭学習の内容を考え、「ひとり勉強カード」に記入する。
- ・担任は、計画した学習内容を確認し、個に応じて助言をしたり励ましたりする。
- ・家庭で学習したあと、家族にみてもらってカードに感想を書いてもらう。
- ・次の日に担任は学習したことをみて、児童の努力を認める。
- ・全児童分のよい学習内容のノートをコピーし、廊下に掲示したり、通信で知らせたりして、家庭学習のしかたを児童や家庭に知らせる。

ひとり勉強のヒントカード

ひとり勉強計画表

学回ごとに家庭学習で取り組む内容の例を具体的に提示する。

ひとり勉強の取り組み方

家で勉強するときは・・・

1. テレ中学業のあとをかりして、しずかにならぬで勉強しましょう。学校の教科書やドリルをみて勉強しましょう。
2. 早く勉強し終わると、勉強のあとに遊ぶことができます。（勉強のあとに遊ぶ時間）
3. つくえなにかって、よい思い出を残しましょう。

★ひとり勉強のヒント★

かんたんかんたん	・新しい漢字や、知らない漢字を覚えていかに書きましょう。 ・漢字のわり算の練習をしましょう。 ・かんたんな漢字、ひらがな、カタカナ、漢字を覚えていかに書きましょう。
ことばあそび	・読んだ本や文章をよんで、ことばあそびをしましょう。
日記	・きょうあったこと、よかったですことを書くことにしましょう。
しゅ	・読んだ本の文章をよんで書いてみましょう。字をきれいに、きれいな字で書いてみましょう。
計算かんたん	・ドリルや計算の練習をしましょう。
かんたんかんたん	・読んだ本や文章をよんで書いてみましょう。字をきれいに、きれいな字で書いてみましょう。
読んだ本	・読んだ本や文章をよんで書いてみましょう。字をきれいに、きれいな字で書いてみましょう。
ニュース	・テレビや新聞のニュースをよんで書いてみましょう。字をきれいに、きれいな字で書いてみましょう。
スケッチ	・読んだ本や文章をよんで書いてみましょう。字をきれいに、きれいな字で書いてみましょう。

日	ひとり勉強内容	勉強時間	ひとこと感想	おうちの方から
<祝>	・ニュースがわかるまで	4:30～5:30	お家のニュースがよかったです。	おうちの方から
11/4	・社会 環境・リサイクル	6:45～7:15	リサイクルの大切さを知りました。	おうちの方から
(水)	・国語 ノート	6:45～7:15	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
5	・社会 環境・リサイクル	6:30～7:45	環境の大切さを知りました。	おうちの方から
(木)	・国語 ノート	6:30～7:45	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
6	・社会 歴史の人物調べ	6:45～7:25	歴史の人物が面白かったです。	おうちの方から
(金)	・国語 ノート	6:45～7:25	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
7	・社会 人物調べ	6:30～7:00	歴史人物について学びました。	おうちの方から
(土)	・国語 ノート	6:30～7:00	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
8	・国語 ノート	10:00～1:00	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
(日)	・国語 ノート	10:00～1:00	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
9	・国語 ノート	9:00～10:00	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
(月)	・国語 ノート	9:00～10:00	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から
10	・社会 人物調べ	5:30～6:15	歴史人物について学びました。	おうちの方から
(火)	・国語 ノート	5:30～6:15	国語の勉強が楽しかったです。	おうちの方から

ヒントカードをもとに学習内容を決め、家庭学習後に学習時間、今日の反省、家族の感想を記入する。

ウ 成果と課題

成果

- ・家庭で学習したことを家族にみてもらうことで児童の意欲が高まり、工夫した内容や丁寧な取り組みをするようになった。
- ・よい取り組みの方法を掲示や通信で知らせたことにより、同学年や上学年のよいところを取り入れるようになり、強化週間が終わっても家庭学習の参考にすようになった。
- ・保護者は、学習したことをみることで現在の学習内容や取り組みの様子を知り、児童の学習について関心をもつようになった。

課題

- ・取り組みの内容や方法にまだ個人差があり、個に応じた指導を継続しなければならない。
- ・家庭による関心、そして、理解と協力を求める必要がある。

② 読書習慣を育てる実践

ア 親子読書週間

< 取り組み期間 >

1回の取り組み期間を7日間程度とし、年4回親子読書週間を設定した。

夏休み、冬休みにも家族読書の取り組みする。

第1回： 6/9～6/15

第2回： 9/1～9/7

第3回： 11/17～11/24

第4回： 2月中旬

< 取り組み方法 >

- ・期間中に家庭で読書した時間をカードに記録していく。最終日には合計で何分間読書をしたのか記入する。児童には、1日に10分以上読書するように呼びかける。
- ・カードには家族が読書した時間を記録する欄も設け、家族も一緒に読書するように協力を呼びかける。
- ・「図書だより」を発行し、取り組みの協力を依頼するとともに、家族も学校から図書を借りて読書できるように、リアス文庫（普代村図書室からの分冊）の紹介を行う。
- ・様々な種類の図書を読むように、教師が推薦する図書コーナーを設置し、積極的に読むよう児童に呼びかける。
- ・夏休み、冬休みは、「家族読書カード」に読んだ本についての感想を家族で書くという取り組みを行い、家族で5冊以上本を読むように呼びかける。

読書週間をふりかえっての感想

毎日お家の人と読書することができてよかったです。感想カードも前よりいっぱい書いてよかったです。今度の読書週間も頑張りたいです。(低学年児童)

読書週間は、毎日読めてよかったです。目標を超えることができてよかったです。(中学年児童)

読書週間をやってみて、いつもより本をたくさん読むことができました。これからも読書週間のように頑張りたいです。(高学年児童)

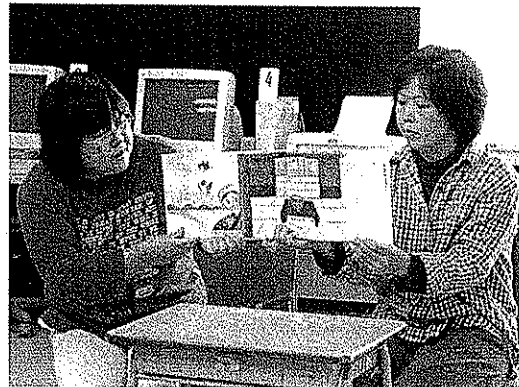
宿題が終わると本を出し読書することが日課になっていました。私が休みの日には子どもから本を読んでもらうなど、とても楽しい時間を過ごすことも出来ました。(低学年保護者)

読書の時間を一緒にしたり、子どもが読んだ本を家族で読んでみたりしました。祖母に協力してもらって大人と一緒に読書の時間がとれたので、集中して読んでいたようです。(低学年保護者)

自分勝手な意見ですが、今の時期忙しいのでなかなか読書する時間をつくるのも大変でしたが、何とか読書することができて良かったと思っています。結局読書週間がなければ親はなかなか読むことができないので、良かったのかなあとも思っています。(高学年保護者)

ウ 黒崎読書ボランティア「ネダリっ子」の会設立

- ・ 9月に黒崎読書ボランティア「ネダリっ子」の会をたちあげ、保護者の方を中心に月に1~2回児童に読み聞かせをしてもらう。



エ 成果と課題

成果

- ・ 読書週間期間は、ほとんどの児童が家庭で一日10分以上読書し、目標時間も達成することができた。また、回を重ねるごとに読書時間も延びていった。
- ・ あまり読書をしない家族も子どもと一緒に読書するように努力していただき、児童は意欲的に読書週間の取り組みを行うことができた。
- ・ 教師の推薦図書を掲示することで児童が様々な種類の図書に触れる機会を与えることができた。
- ・ 「ネダリっ子」の会による読み聞かせでは、遠野弁での読み聞かせもあり、児童は地方に伝わる昔話に興味をもつことができた。今後は、保護者だけでなく地域の方々にも協力を要請したい。

課題

- ・ 読書週間以外に、毎日家庭で読書する習慣がまだ十分に身につけていない児童がいる。
- ・ 家族の方は忙しく、児童と一緒に読書する時間を確保するのが難しい。